

都市の成長を管理する 原科幸彦

シリーズ〈大震災以後〉

1. 東京都心(虎ノ門)



2. 都心から西へ5km(渋谷・原宿)



3. 都心から西へ10km(足尾は面西大野)



4. 都心から西へ20km(調布市)



1. ニューヨーク都心(マンハッタン)



2. 都心から北へ5km(セントラルパーク北)



3. 都心から北へ10km(サウスブロンクス)



4. 都心から北へ20km(マウント・バーノン)



東京圏は世界で最も過密で巨大な都市である 計画的な土地利用がされているニューヨーク(右)は、都心の一部に高密度の地域がある以外は密度が低い。一方、地震列島に位置するにもかかわらず、都市計画の不十分な東京圏の高密度はきわだっている。都心から20km離れても、緑地や広い道路などのオープンスペースがほとんどない(左)。現在議論されている容積率の緩和は、震災の危険性をさらに高める。都市の成長を管理するルールづくりが必要である。